

18時～30分
西院交差点

4月24日(金) 社会保障宣伝

患者の薬剤負担大幅増、戦争反対、看護師・介護士・保育士増員、介護保険制度改悪反対、年金引き上げ、生活保護費の全額補償など、社会保障を守る定例宣伝です。ぜひ参加を！

号外 全国保険医新聞 (昭和27年10月30日 第三種郵便物認可) 2026年3月

保険料も窓口負担(1~3割)も払っているのに

いつもの薬に +25%の追加料金!?



イツでもん

薬代の患者負担は

負担割合	患者負担	負担増倍率
1割負担の人	3割に	3倍
2割負担の人	4割に	2倍
3割負担の人	5割に	1.66倍

※実質的な負担割合

一方で

医療費の削減額は
約900億円で、
一人当たりに
換算すると月63円の
「軽減」にすぎない。



ドコでもん

約1100品目が負担増の対象に

消炎鎮痛(痛み止め) ・ロキソニン	抗アレルギー薬 ・アレグラ ・フェキソフェナジン	保湿剤 ・ヒルドイド ソフト軟膏/ローション
下剤(便秘)・制酸薬 ・マグミット	去痰薬(痰切り) ・カルボシステイン	ステロイド剤 ・リンデロン-V軟膏



ダレでもん

私たちのよく使う薬の負担を増やして
保険料軽減!?

その前にやるべきこと!

- 国の負担割合を増やす
- 大企業の内部留保を働く人に還元し賃金UP
- 大企業の利益に応分の税負担

全国保険医団体連合会 h p より

京都社会保障推進協議会

tel:075-801-2526/fax:075-811-6170/mail:shahokyokyoto@gmail.com